

# 平成30年度予算執行方針

## 1 予算の概要

「八王子ビジョン2022」後半5か年のスタートであり、新たな100年への第一歩となる本年度の予算は、「夢と希望が持てるまち」の実現を目指して、次代を担う子ども関連施策に重点を置いている。また、将来の八王子にとって重要なプロジェクトを「新たな魅力を創造する未来への投資」と位置づけ、まちづくりを本格化していく予算としたところである。

今後は、5か年の中期財政計画をアクションプランの策定と予算編成における指針とすることで、施策を財政面から支えるとともに、財政運営の健全性を確保する。

さらに、平成30年3月に策定した「八王子市中長期保全計画」を確実に実行していくため、今後30年間の市施設の維持・更新に要する経費の年度間の財源不均衡を調整し、財政負担の平準化を図る目的で、新たに「公共施設整備保全基金」を設置した。

## 2 予算執行の考え方

中核市としての権限を最大限に活用するとともに、市民の視点に立ち、分野・部門を越えた庁内連携を図ることとする。また、市制施行100周年記念事業の実施を通じて高められた「市民力」、「地域力」との連携を強化し、まちづくりに取り組んでいくことが重要である。そして、事業実施にあたっては、更なる地域経済の活性化を図るため、経済効果を示し、納得性の高い内容とするよう努めなければならない。

「ひとづくり」、「まちづくり」への積極的な投資を安定的・持続的に実現するため、歳入歳出改革の取組を一層推進するとともに、地方公会計情報を活用した行政コスト分析をもとに費用対効果を意識した事業執行や徹底した総事業費の見直し・再構築に取り組んでいく。

以上のことを踏まえ、次に定める基本方針に従い、予算執行にあたること。

## 基 本 方 針

- 1 「八王子ビジョン2022」の都市像の実現に向け、進行管理を徹底し、予算に計上した各事業を迅速かつ着実に実施すること。
- 2 分野・部門を越えた庁内の連携強化を図るとともに、事業効果や経済効果を示したうえで、最も効率的で最大の効果が得られる予算執行に努めること。
- 3 歳入においては、国や東京都の動向を注視し、最新の情報を捕捉するとともに、予算に計上した歳入を確実に確保することはもとより、予算に計上していない新たな歳入の確保など、増収に向けて積極的に取り組むこと。
- 4 予算審議における議会からの意見・要望については、速やかに検証し、平成30年度の執行、あるいは今後の予算編成において適切に対応すること。
- 5 第8次行財政改革大綱の最終年度であり、掲げた目的を確実に達成するため、行財政改革推進計画の取組項目を早期に実行すること。